

メアブッシュ市表敬訪問記



2010年（平成22年）12月、四條畷市はドイツ・メアブッシュ市と国際友好都市提携を締結しました。2010年は、両市が市制施行40周年を迎えた記念すべき年であり、祝賀メッセージ及び親書の交換、披露を行うなど、誠意と友情をもって友好を温めてきました。提携に向けた調整を重ね、田中市長を代表とする3名の訪問団が、12月10日から15日の日程でメアブッシュ市へ提携締結及び行政視察のため表敬訪問しましたので報告します。

関西国際空港を10日（金曜日）正午に飛び立ち、一路フランクフルト国際空港へ。そこで国内便に乗り換え、デュッセルドルフ国際空港には約14時間後の現地時刻午後6時（時差-8時間）に到着しました。天候は雨。シュピンドラー市長、2名の副市長、市長秘書及び在デュッセルドルフ総領事館の副領事とお会いしました。

翌11日（土曜日）、小雨。メアブッシュ市内を視察しました。市役所施設、上水道施設、工業団地、リサイクル施設などの視察と景観保全公園での提携記念植樹、市立図書館で在住日本人との交歓会に出席しました。その後、市長代理、市議会各会派代表者と昼食会で交流を深めました。



<上水道施設見学>



<提携記念植樹>

12日（日曜日）は曇り、宿泊先のホテル前を流れるライン川堤防の工事現場の視察からスタートしました。その後、植物の葦を利用した雨水処理場、州都のデュッセルドルフ市街、ノイス市郊外のダイク城で開催されているクリスマス

メアブッシュ市表敬訪問記

マーケットを視察訪問しました。夕方は、メアブッシュ市内の教会で、アドベント(待降節)のナイトコンサートに招待されました。



<ライン河畔の近代建築>



<ナイトコンサートが行われた教会>

13日(月曜日)は、国際友好都市提携調印日、快晴。調印式の前に、在デュッセルドルフ総領事館で小井沼総領事と面談、1時間にわたり政治、経済、文化及び日本との関係について説明を受けました。その後、現地時間午前11時(日本時間午後7時)、メアブッシュ市内の歴史的建造物「テロイの風車」において、小井沼総領事、大隈副領事ほか大勢の列席者が見守る中、田中市長とシュピンドラ市長は、誠意と友情を込めて国際友好都市提携書に署名しました。



<調印式の様子>

式典後、京都大学へ留学されていた生物学者の農家を訪問しました。築150年の家を改修して住まれているとのことで、地熱を利用した暖房設備と太陽光発電設備を見学しました。その後、市長、秘書、会計責任者、広報の担当者だ

メアブッシュ市表敬訪問記

けが執務しているビューダリヒの市庁舎を視察しました。メアブッシュ市には総合的な庁舎はなく、建設局、技術課など建物が市内に分散しており、総合的な庁舎は永遠の課題であるとのことでした。



<ビューダリッヒ地区にある市庁舎>

市庁舎前には、クリスマスシーズンとあって、小さなアイススケートリンクやクリスマスマーケットが設置されていました。夜は、小井沼総領事公邸に両市の関係者が招かれ、懇談の場がもたれました。

14日(火曜日)、前日の夜に降った雪景色の中、シュピンドラー市長と最後の別れを惜しむとともに今後の末永い友好交流を誓いあい、帰路につきました。

今後は、「文化」・「教育」・「芸術」・「スポーツ」・「経済」などの分野での交流事業の検討を進め、両市で協力しながら多様で持続可能な市民交流を目指し活動します。お互いの文化や歴史に理解を深め、両市がさらなる新たな歴史を歩みだすことは、両市民にとって誠に意義のあることです。両市の友好親善が末永く深まるよう、大切に育てていきましょう。



<アイススケートリンク>



<帰国前空港にて>